

所沢発 発達凸凹・感覚過敏っ子の応援を広げたい！

絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト

GoodMorning by CAMPFIRE

3/23金
～
5/1火



ふるすあるは +Light it up blue 所沢実行委員会

発達障害に伴いやすい感覚の特性「感覚過敏」をテーマとした絵本を小中学校の保健室へ届けます。

これまでに約300冊を寄贈してきた「絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト」の第4弾は、「Light it up blue所沢実行委員会」の協力で、4月2日世界自閉症啓発デー、4月2日～8日の発達障害啓発週間にあわせての実施です。

感覚過敏は、行事、服装、給食、授業など、学校生活のさまざまな場で、大変さを抱えることがあります。こだわりやパニックの背景に隠れていることもあります。しかし、まわりからわかりにくいいため、努力やガマンが足りないとい誤解されやすいです。感覚過敏からくる苦手と工夫を探検することで、子どもたちの安心と応援を広げます。



プロジェクト
ページへ！

■対象絵本

子どもの気持ちを知る絵本③

『発達凸凹なボクの世界—感覚過敏を探検する』

ブルスアルハ著 [お話と絵:細尾ちあきNs / 解説:北野陽子Dr]

ゆまに書房 2015年9月刊行

定価:本体1,800円+税 B5判上製/56頁 ISBN978-4-8433-4603-7 C0311



お話と絵を担当する
看護師のチアキも
感覚過敏もち
見えない感覚の世界を
絵でわかりやすく表現！

■プロジェクト概要

『発達凸凹・感覚過敏っ子の応援を広げたい！

—絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト』

クラウドファンディングサイト「GoodMorning by CAMPFIRE」にて

申込受付期間:2018.3/23(金)～5/1(火)

第一目標:30万円(所沢の小中学校57校へ寄贈するための絵本代・送料)

達成したら対象を全国へと広げます

※リターン(お礼)が絵本となるコースもあります。寄付者自ら絵本を届ける、学校を指定してふるすあるはから献本する、という参加の仕方できます



聴覚が過敏な主人公タク
教室の音が耳につきささる...

主催 NPO 法人ふるすあるは

協力 Light it up blue 所沢実行委員会